

信篤 (SHINTOKU)

市川市議会議員

第68号

いちかわ

松永おさみ 市議会だより

事務所 市川市原木1-22-16

電話047-327-1470

HP www.matunaga-o.net

村越市長を迎え初の議会

六月市川市議会は、市長選再選挙の結果を受け、初の議会として村越新市長のもと、六月六日から六月二十七日迄の二十二日間にわたり開催されました。今議会に提案された議案は条例制定と改正案が十二件、予算と契約案件が夫々一件を含む合計二十八件でした。審議の結果は全て原案の通り可決されました。特に今回の議会では、村越市長の初陣となったことから、新市長として冒頭に所信表明を公表されたことを受け「保育園の待機児童の解消」「公民館等の使用料の問題」「ごみの収集回数のある方」について、会派代表質問で多数議論されました。その外、県との関係で、千葉県血清研究所跡地の活用と赤レンガ倉庫の保存、行徳野鳥観察舎の廃止に係る協議の方向性にも質問が集まったことが注目され、今後の動向に関心が高まることが予想されます。

市長に村越祐民氏

市川市長の再選挙が全国で6例目という異例な選挙として4月22日に執行され、3氏により競われた結果新人の村越氏が当選し就任しました。

当選	46,143票	村越	祐民
	42,931票	田中	甲
	41,880票	坂下	茂樹

当日の有権者数 391,001人
投票率 33.97%

市長の所信表明

三本の柱を軸に展開

村越新市長による初の市議会六月定例会の開会冒頭市長として所信表明が行われたので、その概要をお知らせします。私の選挙公約を施策に反映させることで、すべての市民の皆様が自分らしく暮らしたいける市川市をつくるのが私の使命であると、改めて実感しているところです。公約の実現のため取り組む施策に3点、掲げました。

1. 「人と健康を守る」についてです。

人を守るといふことは、一人ひとりの生き方を尊重し、全力でサポートすることに尽きます。そのために、本市が取り組むべき最重要課題の一つが待機児童対策です。平成30年4月1日現在では、三八五人のお子さんが保育園に入園できず、保護者の方々は働きたくても働けない状況にあります。これまでは、主に事業者提案による保育園整備により待機児童の解消に取り組んでまいりました。今後は、これらの取り組みに加え、公共施設などを活用した保育施設の整備についても選択肢に入れるなど、考えうる限りの施策を実施することで、本市の待機児童をゼロにしていきたいと思います。次に、市民の皆様の健康を守ることは大変重要であると認識し、積極的に健康施策に取り組んで、高齢の方も障がいのある方も安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、福祉サービスを充実してまいります。

2. 「暮らしと環境を守る」についてです。

まず、月例のタウンミーティングを開催してまいります。私これまで市民の皆様からいただいたご意見の中で特に多かったものが、ごみの収集回数についてです。本市では、平成29年4月からごみの減量等を目的として、収集回数を見直しておりますが、私は、ごみの減量とともに市民の皆様の利便性も大変重要であり、この二つを両立させるべきであると考えております。そのため、燃やすごみの収集体制を見直すことで市民の皆様の利便性を向上させるとともに、リサイクルを徹底する仕組みを構築するなど、ゴミの減量にも取り組んでまいります。次に、市民の皆様の暮らしを守るためには、防災対策も大変重要であ

ると認識しております。そこで、東日本大震災や豪雨による鬼怒川のはん濫など、近年の自然災害で明らかとなった課題や教訓などを踏まえて地域防災計画を見直し、市民や事業者とともに防災体制を強化するなど、災害対策を徹底してまいります。

3. 「夢と未来を守る」についてです。

この施策は、市民の皆様の夢や希望を支援するための施策です。未来を担う子どもたちには無限の可能性があり、一人ひとりが夢を持ち、力を十分に発揮して希望を叶えていくことができる教育が必要であると考えています。そのため、多様性を認め合うことや、個性を伸ばし、「自分らしく」学べる環境をさらに整えてまいります。又、市民や団体の主な活動拠点となっている公民館などの使用料につきましては、平成26年度から28年度にかけて見直しが行われておりますが、活動の支援という観点も考慮し、改めて使用料の引き下げ及び減免制度のあり方について検討してまいります。近年のICTの進化と活用は、私たちの想像をはるかに超える速さで進んでいます。その中で、ICTに強い若者たちが、今までとは全く違う発想で地域経済の仕組みを考えていくことで、新しいビジネスを誕生させるのではないかと思います。今後、本市がさらに発展していくためには、事業を起こす意欲のある人たちの背中を押して、起業しやすい環境をつくっていくことが不可欠です。起業による事業の成長に伴って経済が活性化することで、税収増につながるものと考えています。こゝまで、私が4年間の任期において取り組む主な施策について述べてまいりましたが、今後は、あらゆる施策において、積極的にICTを活用してまいります。最新の技術を活用することで、市民サービスを向上させるだけではなく、民間企業に対しても良い影響を与えるようなイノベーションを本市で実現したいと考えています。

以上概要ですが、「私が掲げた三つの公約を進めることで、市民の皆様が多様な価値観が尊重される市川市をつくってまいります」と所信表明をむすんでおります。

松永市議15年表彰を受く

松永おさみ市議は、この度市議在職15年になり、全国議長会から市政運営に貢献された由に表彰を受けました。これも偏に今迄陰に陽に私を支えてくれた皆様と共にいただいた受賞であると感謝しております。

信篤の街づくりが佳境

信篤・二俣地域に建設中の三大施設（東横インH・巨大物流S・特老H）の建設が進み、新たな街づくりの核的存在として注目され、市にとっても画期的な事業として期待されますので、その現況をお知らせします。

東横インホテル

原木三丁目地先（京葉道路原木I・C出口隣接）14階建四六一室（内シングル四二一室ダブル四〇室）敷地面積三、七七〇㎡、高さ46・5m、駐車場八五台分。ホテルの建物は全て立ち上がり現在は内装工事を進めており、この十二月には工事完了予定で、オープンは一見込み、従業員募集は八月頃で、約七十名を地元の人を優先して雇用することです。防衛省官舎跡地に巨大物流センターの進出

昨年国から払い下げを受けた、二俣地内の旧防衛省官舎跡地（約十萬二、二四五㎡・約三萬一千坪）に建設中の物流センター一棟四階建、延約二十二万五千㎡の建設も進み、平成三十一年一月の完成を目指し鋭意進行中です。道路交通網に恵まれ、この度の東京外かく環状道路の開通を受け、更に活発な引合いが続くものと期待されています。雇用も二千五百人程度が見込まれ、経済の活性化と併せて地域のまちづくりの核として果たす役割、期待の大きさがうかがえます。

特別養護老人ホームも着々と

原木四丁目地先（ぼらき苑の東側隣接）に建設中の定員百床の特別養護老人ホーム二階建ての建物も来春四月の開設に向けて工事も順調に進んでいます。現在市内で入所希望者は二五四名とのことですが、今年と来年に市内に二か所建設することにより待機者の解消がほぼ図れます。

行徳にふれあい伝承館

国の登録有形文化財である本行徳にある旧浅子神輿店の店舗兼主屋について、平成21年に市が寄附を受け、この度行徳の文化や歴史等の資料を市民等に公開するため、曳家及び内外装の改修を行った。また、対面の倉庫跡地には街並みに配慮した木造の休憩所を新設し、両施設一体で「行徳ふれあい伝承館」とし、広く公共の用に供するものであります。七月一日から開所され入場無料。朝十時から午後五時まで、毎週月曜休館。

松栄会会長に石井洋祐氏

松永おさみ市議の後援会「松栄会」の会長が空席となっておりましたが、五月一日付で、新会長に原木四丁目在住の行徳漁協組合長を務めている石井洋祐氏が就任しましたので、ご報告申し上げます。